

第 2 6 回 温泉関係功労者被表彰者（50音順）

氏 名	年 齢	役 職 等	功 績 概 要
いなば よしかず 稲葉 悦一	73	静岡県温泉協会会長 (社)日本温泉協会 常務理事 静岡県環境審議会温泉 部会委員	昭和33年以来、伊東温泉旅館組合の役員として地元温泉の資源の保護と適正利用の普及啓発に尽力するとともに、20年以上の永きにわたり(社)日本温泉協会常務理事や静岡県温泉協会会長等を勤め、全国的・全国的にも温泉資源の保護及び適正利用の普及に努めた。 また、昭和62年から通算11年間、静岡県環境審議会温泉部会委員として、温泉行政の推進に大きく貢献した。
おおぬま しょうこ 大沼 章子	59	愛知県衛生研究所生活 科学部環境物理科 長	愛知県衛生研究所において、通算34年間の永きにわたり温泉分析や地下水の化学分析、解析調査業務に従事するとともに、温泉に含まれるラドンやトリウム等の分析に関する研究に成果を挙げるとともに、環境省の「鉱泉分析法指針改定検討調査」検討会委員(H16~18)として参画する等温泉の保護と適正利用の推進に大きく貢献をした。
かがみもり さだのぶ 鏡森 定信	64	富山大学医学部長	20年の永きにわたり日本温泉気候物理医学会会員(平成14年からは同学会理事)として、健康・福祉分野における温泉の活用法とその効果についての調査研究を実施し、温泉療法に関する多数の著書の発刊や国内外における論文を発表するなど、温泉療法の普及啓発に尽力し、温泉の適正利用の推進に大きく貢献した。
かわひら かずみ 川平 和美	60	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 運動機能修復学講座 機能再建医学教授	鹿児島大学医学部附属病院霧島分院及び改組後の同霧島リハビリテーションセンターにおいて通算29年間の永きにわたり勤務し、温泉を用いた運動浴等の治療や研究に従事し、温泉医学の発展と普及に貢献した。 また、温泉医学に関する多くの学術論文の発表や温泉旅館の経営者等に対して、健康増進への応用など温泉の医学効果に関する講演を行うなど温泉の適正利用の推進に大きく貢献した。
きむら いくこ 木村 郁子	67	富山県環境審議会温泉 専門部会専門員	富山県環境審議会温泉専門部会専門員として約25年間にわたり富山県内の温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に大きく貢献した。 特に、同専門部会においては、公衆衛生に関する豊富な知識を活かし、審議の中心的な役割を果たしたほか、「富山県温泉法施行規則」や「富山県温泉法施行規則の施行に係る運用指針」の策定に尽力した。
さかもと はやお 坂元 隼雄	66	財団法人鹿児島県環 境技術協会理事長	鹿児島大学理学部において、約40年間にわたり温泉の化学成分分野での研究に尽力するとともに、温泉に含まれる重金属などの微量成分の定量分析法の開発など、温泉分析分野の発展に大きく貢献した。 また、鹿児島県温泉審議会委員、環境審議会温泉部会委員として約19年間にわたり鹿児島県内の温泉の保護と適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に貢献した。
すずき いくお 鈴木 生男	76	山形県環境アドバイザー 元日本環境科学株式 会社顧問	昭和33年から、山形県職員として温泉、水資源等に関する業務に従事した他、地学・地質学の専門家として山形県内の温泉資源の湧出状況に関する研究論文を発表するなど、永きにわたり温泉資源の保護と適正利用の推進に貢献した。 また、長年の温泉に関する知識と経験を活かし、社団法人山形県温泉協会温泉問題研究委員として、源泉の実態調査及び温泉に関する様々な相談に対し、的確な指導を行うなど、温泉利用事業者等の資質の向上に大きく貢献した。

氏名	年齢	役職等	功績概要
長野県温泉協会	-	-	<p>昭和41年の協会設立以来、温泉に関する様々な知識を普及するための研修会を継続して開催しているほか、温泉成分の再分析を促すための会員向け助成制度の創設、徹底した情報提供を推進するための天然温泉表示マークの制定、温泉療養の専門知識を有する温泉療養指導士の養成など、先進的かつ独創的な取組を展開し、温泉資源の保護や適正な利用及び温泉地の活性化に大きく貢献した。</p>